おしめ乾燥処理実績

令和4年4月～令和5年3月

		焼却量(ｔ)	おしめ処理前(kg)	おしめ処理後(kg)	利用した熱量(MJ)	計画・目標値(MJ)	達成率(%)
令和4年	4月	322	3,320	730	5,846	8,000	73.1%
	5月	360	3,370	800	5,800	8,000	72.5%
	6月	190	4,510	1,140	7,606	8,000	95.1%
	7月	496	3,740	1,030	6,116	8,000	76.5%
	8月	500	3,240	680	5,778	8,000	72.2%
	9月	470	3,990	950	6,861	8,000	85.8%
	10月	522	4,750	930	8,622	8,000	107.8%
	11月	592	3,450	760	6,071	8,000	75.9%
	12月	518	3,140	720	5,462	8,000	68.3%
令和5年	1月	452	3,150	750	5,417	8,000	67.7%
	2月	321	3,080	690	5,394	8,000	67.4%
	3月	205	3,840	970	6,478	8,000	81.0%
合計		4,948	43,580	10,150	75,452	96,000	78.6%

※本来、この設備によるおしめを乾燥させる熱源は、通常　ガスバーナー（若しくは灯油等）を使用する事により、

温風を発生させるが、排ガスの熱を利用する事により、乾燥用の温風をつくり出している。

熱回収量の根拠は、下記の通りである。

蒸発水分量　×　蒸発潜熱

焼却施設の熱回収計画・目標値(MJ)を表中の通り定めている。